



中小路学区コミュニティ推進会

ホームページ インスタグラム

中小路小学校

駒王中学校



第128号

中小路学区コミュニティ推進会

中小路地区社会福祉協議会

発行責任者 中 野 三樹男

編集責任者 広報部

交流センター 22-6483

<http://www.net1.jway.ne.jp/>nakakouji.k/index.html

四月十三日(日)中小路交流センター会議室で、令和七年度中小路学区コミュニティ推進会総会を開催しました。当日来賓として駒王中学校校長松原浩太郎様と中小路小学校校長齊藤貴司様をお迎えし、あいさつをいただきました。その後総会が始まりました。

主な議題として、令和六年度の活動報告・決算・監査報告と令和七年度の活動計画・予算などの議題を役員・推進員五〇余名で審議・承認をいただきました。

令和七年度

中小路学区

コミュニティ推進会総会開催

会長 中野 三樹男



本年七年度は、中小路学区コミュニティプラン策定三年目で、かつコミュニティ推進会設立五〇周年記念の年にあたりますので、「未来につなげる まちづくり」ーみんなで創る！笑顔が広がる・住みよいまちーをめざして、地域住民の皆様と手を携えてより一層コミュニティ活動の充実・拡大を進めてまいります。中小路学区も住民の高齢化が一段と進み、役員・専門部員等の世代交代も必要になりつつありますので、改めまして地域住民のコミュニティ活動への参加お待ちしております。

新役員紹介

健康推進部部长

松本 弘之



この度、健康推進部部长を拝命しその重責を強く感じております。

誰でも、人の手を借りず自身の力で日常生活が送れる「健康寿命」を伸ばしたいですね。私達健康推進部はそんな皆さんを各種事業を通してサポートしたいと考えています。

今年度も皆さんが気楽に参加できるような軽スポーツやイベントを計画していきます。グラウンドゴルフや4コートバレーボール等で少し汗をかき、健康フェスタで健康状態をチェックしてみたいかがでしょう。実施する際には広報紙またはさくら並木でご案内いたします。友人やご近所の方にも声を掛けご参加ください。

爽やかな空のもと体を動かし、大きく息を吸い込むだけでも気分転換になり、食事や飲み物もおいしくなるはずです。

一歩足を踏み出し、皆さんちよつとだけ汗をかいてみませんか。「ぜひやってみたい」という声をお待ちしています。

再生資源集積所の

利用方法変更の説明会

再生資源集積所の利用方法変更にもなう説明会を下記内容で開催いたします。

今回の主な変更点は、次の通りです。

- ① 住民による用具出し、当番を廃止し、市が用具入り専用ボックスを前日集積所へ設置、回収します。
- ② 木札の掲示を廃止します。

説明会開催日時

期 日 5月27日(火)第1回目(終了しました)

7月6日(日)10:00~ 約1時間

申込締切日 7月4日

※説明会は質疑等を含め1時間程度を予定しています。

場 所 中小路交流センター会議室

申込み 中小路交流センターに申込み下さい。

※各集積所の町内会等を中心に参加願います。

中小路・宮田・仲町 小学校統合委員会 が発足します。

中小路コミュニティ推進会副会長
草 地 学

5月22日より統合に向けた話し合いの委員会が始まります。

中小路コミュニティ推進会から委員として草地学、専門委員として鈴木浩で対応していきます。

統合委員会はコミュニティ・PTA・学校から選ばれた委員によって、「子どもたちにとって良き学びの場」を目的に、学校の設置場所・学校名・校歌・PTA活動など様々な視点から新校について協議を行います。小学校の統合は、小学校の場所にコミュニティが組織されることから地域活動にも大きな影響がありますので、広報紙「中小路」等で進展の状況を毎号報告して参ります。

日立桜ライオンズカップ優勝

吉野 大輔



令和6年度の日立桜ライオンズカップにおいて中小路サッカー少年団が、見事5年生の部と4年生の部でダブル優勝を果たしました。中小路サッカー少年団が創部されて以来の快挙とのこと。

本大会においては、日立市内から5年生の部に11チーム、4年生の部に13チームが参加。中小路イレブンも予選リーグから両学年とも素晴らしいチームワークと高い得点力を見せ、見事頂点に輝きました。日頃の子どもの頑張りや指導者のアツい指導の賜物です。

2025年度の入団式を終えた現在、中小路サッカー少年団には市内10の小学校から50名を超える児童が所属しています。

子どもたちは、地域の皆様の温かいご声援を力に変え、日々練習に励んでいます。今後とも、中小路サッカー少年団への熱い応援をよろしくお願い致します。



「GIVE BACK FROM KOJI ~ホームタウンへの恩返しプロジェクト」

1999シーズンから26年間、水戸ホーリーホックに在籍し、クラブの守護神としてチームと共にあり続けたレジェンド「本間幸司さん」。引退後の25年1月には「クラブリレーションオーガナイザー」(CRO)という役員に就任され、トップチームや育成組織の強化、営業活動などに取り組んでいらっしゃいます。本間さんは日立市出身。「愛するサッカーのため、愛するこの街のために、何か恩返しをカタチにしたい。」という思いから本プロジェクトが始動し、水戸ホーリーホックホームタウン15市町村の計175施設に、プロジェクト特製サッカーボールが寄贈されることになりました。そして、3月には中小路小学校にも3個の特製ボールが届きました。早速、休み時間にそのボールを使ってサッカーを楽しむ姿が見られました。本間選手に感謝し、これからも楽しく使わせていただきます。